

「こんにちは」でつながる！

きもつきで暮らす「ご近所さん」



スーパーの売り場や通学路など、町のあちこちで、私たちと同じように日々を過ごしているベトナムやインドネシアから来た仲間たちがいます。「普段見かけるけど、何と声をかければ良いかわからない…」と戸惑っているそこのアナタ、そんな時は、恥ずかしがらずにぜひ声をかけてください。「こんにちは」や「お疲れ様！」の一言が何か新しい繋がりになるかもしれません。

今回は、町内で働く3人の皆さんにインタビュー。彼らの素顔を知れば、今度町で出会ったときの距離が、グッと縮まるはずですよ。



インドネシア出身

ユダさん



【インタビュー内容】※質問は共通

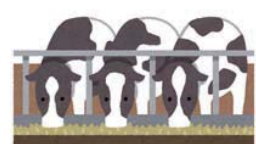
- ①どんな仕事をしていますか？
- ②日本の好きなもの（食べ物や場所など）は何ですか？
- ③お休みの日は、いつも何をしていますか？
- ④あなたの夢や目標は何ですか？
- ⑤あなたを見かけたら、何と声をかけてほしいですか？

- ①町内の会社で漁業（網持ち）をしています。
- ②食べ物：焼き肉、場所：海
- ③釣りが好きで内之浦の港にいます。
- ④バドミントンのアスリートです！
- ⑤あいさつをしたいです。
(こんにちは。おはよう)



ベトナム出身

トウイさん



- ①町内の会社で牛を育てています。
- ②食べ物：さしみ、場所：桜島
- ③鹿屋の業務スーパーで買い物や友だちと会ったりしています。
- ④長く日本で働きたいです！
- ⑤天気や季節の話をしたいです。
(良い天気ですね。など)



ベトナム出身

ダオさん



- ①町内の会社で建設土木をしています。
- ②食べ物：さしみ&寿司、場所：海
- ③鹿屋の業務スーパーで買い物や日本語の勉強をしています。
- ④土木の資格を取りたいです！
- ⑤あいさつをしたいです。
日本の文化を教えてください。



第1回わいわい、つながる！ソフトバレーボール交流会

国籍を超えて支え合えるまちづくりを目指し、6月13日に内之浦銀河アリーナで「第1回わいわい、つながる！ソフトバレーボール交流会」が開催されました。初めての試みとなった今回は、町内の企業で働くベトナム国籍20名、インドネシア国籍11名の方々を含む、総勢68名が参加。スポーツを通じて交流を深めました。

最初は少し緊張気味だった参加者の心をほぐしたのは、ユニークなアイスブレイクです。出身地の地図にシールを貼ることで「ご近所さん」を見つけて会話を弾ませた後、チーム対抗のミニゲームでは、縄跳びを使って協力してボールを運ぶのに大盛り上がり。言葉が通じなくても、アリーナにはすぐに笑い声が響き渡りました。

メインのソフトバレーボールでは、初めて競技に触れる参加者も多い中、お互いにルールを教えながら試合がスタート。試合を重ねるごとに、白熱したラリーが続き、コートのあるところから「ナイス！」「ドンマイ！ドンマイね！」と得点が決まるたびに、国籍を超えたハイタッチが交わされました。

あっという間のひと時でしたが、参加者全員が笑顔で、「次も参加したい！」「今度は友だちも誘います」と次回の開催を心待ちにしていました。

